



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
<http://www.bunsei-art.ac.jp>
発行 教務部・学報編集係

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。

根づくか「文星ブランド」

文星芸術大学附属中学校・高等学校長

上野 憲 示



ころとなつていいる。伝統的に強い運動部も健在で、第八十八回、八十九回と二年連続で夏の甲子園大会に出場を果たした硬式野球部をはじめ、より一層文武両道を目指す生徒達の学習の場が確立されようとしている。

折しも、平成二十二年(二〇一〇年)は、本校の建学百年目に当たり、全国に文星の名をいわば「文星ブランド」を大いに喧伝すべき時機である。

ところで、「文星ブランド」とはどのようなものなのだろうか。果たして、本校は、どのような個性を持っているのだろうか。また、中学生からは「文星」をどのようにイメージし

てもらっているのだろうか。地域の方々からは、どのように認知してもらっているのだろうか。「活気がある学校」だろうか。「誇れる学校」だろうか。

考えてみれば、生徒は三年間で高校を卒業してしまふ。本校で育まれた三年間の成果が外部へ発信されるのは、毎年別の集団によつてなのだ。「ブランド」と言うからには、そこに、継続的で持続可能な要素を含むことが不可欠である。この相反する事象をどのように連結するの。その答えが得られなければ「文星ブランド」の確立はあり得ない。

では、「文星ブランド」の基盤となるものとは一体

何だろうか。それは、周囲の人々から認めてもらえる「実力」と、本校のこともっと知りたいと思ってもらえる「魅力」ではないだろうか。したがって、「文星ブランド」を確固たるものとするためには、進学面、運動面をはじめとした各分野において実力を養成し、生徒一人ひとりが自信を持って誇れる学校を創造していくことが必要である。そして、その様子を学校外にも広く知らせることに力を尽くし、本校に対して憧れを持って受け止めてもらえるようにすることが、今現在の課題だろう。

「文星」にかかわる一人ひとりがその基礎固めにかかわることこそが、次の百年間につながる「文星ブランド」を創りあげることになるだろう。そのことを自覚しながら、平成二十一年度を力強く歩いてゆこう。



中学校行事予定

▽六月	1日(月) 衣替え
2日(火)	宇中教研教科部会 (授業二校時まで)
6日(土)	ボランティア実践
8日(月)	第99回創立記念日 社会科見学
10日(水)	(足利学校・渡良瀬遊水池) 社会科見学予備日
12日(金)	実用英語検定(一次)
18日(木)	宇中教研教科外部会 (授業二校時まで)
20日(土)	福祉体験学習
25日(木)	振替授業(水①②③)
27日(土)	学習会
▽七月	1日(水) 3日(金) 期末考査
4日(土)	私学模試(全学年)
11日(土)	修学旅行保護者 オリエンテーション 学習会
12日(日)	実用英語検定(二次)
17日(金)	第一期終業式

高校行事予定

▽六月	1日(月) 衣替え
5日(金) 6日(土)	総合 学力マーク模試(英三年)
8日(月)	第99回創立記念日
10日(水)	新入生歓迎校内体育大会
11日(木) 13日(土)	保護者会
12日(金)	実用英語検定(一次)
30日(火) 7月3日(金)	期末考査
▽七月	10日(金) 日本漢字能力検定
10日(金) 11日(土)	総合 学力記述模試(英三年)
11日(土)	総合学力テスト (英一二年)
12日(日)	数学実用技能検定
14日(火)	実用英語検定(二次)
17日(金)	総合学力テスト (普通一二年)
17日(金)	第一期終業式

- 1p <学校長より>
- 2p <新年度の挨拶・担当教員>
- 3p <新任教職員紹介(高校)>
- 4p <輝け!! 文星健児>
- 5p <新年度のメッセージ>
- 6p <新任教員紹介(中学)>
- 7p <宿泊学習・文星散歩道④>
- 8p <文星フォトギャラリー>

高等学校

教育は人なり



副校長兼教頭 誠 富田

「医学が科学ではないように、教育もまた科学とは言い難い」―医学も教育も「再現性」を必ずしも望むことができないのだ。ある生徒に対して上手くいった指導が、別の生徒に対して有効であるとは限らない。一つの問題に対して、答えが一つとは限らないのだ。

科学の世界では、たとえば「1+1」の答えは「2」になる。理論が正しければ、どんなに遠く回り道をしても結論はただ一つになる。科学者はそう信じている。

ところが、世の中の事象を眺めてみると、「1+1=2」とはならないことがあることに気がつく。このことを十分に理解すると、科学とは言い難い「教育」が身近で信頼できるものになってくる。

「教育は人なり」なのだ。

教育はきわめて人間らしい、血が通ったものだ。十人を教育する方法は十通り以上ある。教育する人間が異なれば、方法は累乗的に多様化する。そういう意味で、技術を磨くことは必要不可欠だが、それだけでは教育には不十分だろう。人を磨くことにも力を注ぎたい。それらのことが学校力の向上につながると思っている。

「教育は人なり」―その言葉を常に心に刻みながら、着実な歩みを続けたい。

悔いのない毎日を



副教頭 廣 大木

今までいろいろなスポーツ大会やコンテストで優勝した生徒たちの言葉を聞いたり目にしたりしています。そこには、「一人ひとりが自分の役割を果たしたから優勝できた」とか「今まで一生懸命、全力で取り組んできたから良い結果が出せた。」などの言葉が必ず出てきます。彼らは、誰かに頼らず、自分がチームを支えたいという強い気持ちを持

授業が一番



統括総務 利 治 澤 吉

ち、それまでに誰にも負けないくらいの努力をしたという自信を持っているから、目標を達成できたのではないのでしょうか。

本校は、「ライオン主義」の精神を信条として、何事にもどんな状況でも全力を尽くす「全力主義」で授業や部活動に取り組むことを諸君に期待しています。

新学期がスタートし、県高校総体や中間審査も終了、インターハイ予選や大学受験・就職試験等に向けて頑張っていると思います。ぜひ、毎日を悔いのないように全力で過ごしてほしいと思います。

学年担当教員

《第一学年》

総務	鈴木 幸夫
主任	千代野 仁
副主任	白石 一徳
生徒指導	長谷川 聡
学年担当	新井 隆義
学級担任	石井 隆詞
一組	荒井 祐也
二組	染野 幸弘
三組	高橋 伸夫

庭の経済状況や入学時の学費・月々の生活費などについて、親子でよく話し合って下さい。経済面に見通しが立てば安心して受験勉強に打ち込むことができます。

受験勉強も就職活動も同じで、要は自分を高く売るためにはどのような付加価値(学力の向上・各種検定の合格・部活での活躍など)を自分につけることができるかが大きなポイントだと思います。

そのためには、月並みではありますが、授業が一番大切です。毎時間全力で取り組み続けて下さい。己に克つただけが、栄冠を得ることができません。日々の精進を期待しています。

《第二学年》

総務	富永 一巳
主任	岩泉 徳英
副主任	荒川 喜昭
生徒指導	渡辺 誠
学年担当	伊沢 修一
学級担任	瀧島 一利
一組	柵山 英樹
二組	梶川 崇
三組	安達佳奈子
四組	雪野 賢
五組	関塚 貴光
六組	高木 肇
七組	川村 大介
八組	田中 恵
九組	西牟田浩章
十組	田口 純平
十一組	渡辺 誠
十二組	田島 基行
十三組	中田 裕一
十四組	田村 伸也
十五組	長谷川 聡
十六組	笹沼 芳孝
十七組	守谷 淳子
十八組	根本 哲也
十九組	白石 一徳
二十組	住森 克己
二十一組	小林 秀晃
二十二組	金子 真一
二十三組	長谷川裕二
二十四組	岡嶋 陽子
二十五組	坂巻 敦志
二十六組	森本 浩雅

《第三学年》

総務	山口 和正
主任	大越 研介
副主任	小菅 光春
生徒指導	直井 秀幸
学年担当	星野 英雄
学級担任	福田 和弘
一組	佐藤 史徳
二組	菊地 幸子
三組	中根 雅之
四組	飯島 芳美
五組	馬場 義浩
六組	畠田 和明
七組	石塚 玲子
八組	富田 健作
九組	野口 秀敏
十組	加藤 総明
十一組	船木 勝
十二組	尾田 大輔
十三組	南木 和喜
十四組	池澤 昌憲
十五組	直井 秀幸
十六組	荒井 千穂
十七組	荒川 喜昭
十八組	阿部 克美
十九組	石渡祐一郎
二十組	佐藤 輝明



新任教職員紹介



藍田 收
地歴・公民科
(英進科専任)

めざましい発展を続けている本校で、意欲的に学習に励む生徒に囲まれて仕事ができることに喜びと充実感を感じています。

「温故知新」という諺に示されるように、生徒には歴史の学習を通して人としての生き方・在り方を学び、これからの時代をたくましく生きていく力を養って欲しいと願っています。初心にかえって努力しますので、よろしく願います。



藤田 一夫
数学科
(英進科専任)

三十七年間の教員生活を定年退職し、新たな気持ちを持って本校に勤務することになりました。現在本校は部活動や進学において目ざましい成果をあげており、地域社会で大変注目されており、三敬精神、ライオン主義の教えのもと、自分

の可能性の実現に向けて日々頑張っている姿に感銘を受けます。

初心を忘れることなく、努力してまいりますので、よろしく願います。



渡辺 昌直
英語科
(英進科専任)

三階の職員室へ通じる階段を登っている時、降りてきた生徒に「今日は」と挨拶されました。その後、職員室に着くまで何人かの生徒が爽やかに挨拶をしてくれました。学生服を清潔に着こなし頭髪もさっぱりしていました。どのような生徒諸君と一緒に勉強することになるのだろうかと期待と不安が入り混じったまま登校した私にとって、これが初めての本校生との接触でした。素晴らしい生徒たちである、とは聞いていました。

やる気のある生徒、生徒の夢実現のため心血を注いでいる先生方、それに加えて少人数のクラスです。このように恵まれた教育環境の中で勉強できることは大変有り難いことです。週二日の非常勤ですが、よろしく願います。



森本 浩雅
国語科

日常生活の中で、国語という教科を意識することはほとんどないと思いますが、国語は私たちの生活に欠くことができない教科です。人間は一人では生きていけません。他者の意見を受け取る「読む」「聴く」力と、自らの意見や考えを発表する「書く」「話す」力を身につけることが必要です。

三敬精神とライオン主義を大切にし、ともに成長したいと思っています。



藤原 光一郎
保健体育科

はじめまして。三年前、私は本校の制服を身にまとい、目標に向かって突き進んでいました。皆さんは明確な目標がありますか。小さくてもいい、まずは目標を作ってください。それをサポートしてくれる素晴らしい先生方が本校にはたくさんいます。私も皆さんの飛躍をサポートしていきたいと思っています。



岡嶋 陽子
英語科

はじめまして。英語担当の岡嶋と申します。昨年度までは主に県立高校の非常勤講師をしておりましたが、四月から本校でお世話になっていきます。

熱心で人間的に尊敬できる教職員の皆さん、勉強に、部活にとがんばり屋さんの生徒の皆さんと過ごす毎日楽しく、充実したものです。

この学校の一員となれたことに感謝しつつ、自分には何ができるだろうかと思案中です。日々成長できるようにがんばりますのでどうぞよろしく願います。



金子 真一
地歴・公民科

はじめまして。地歴・公民科の金子真一です。高校予備校の講師等を経験し、本年度から、本校にて勤務させて頂くことになりました。得意分野は、哲学・美学です。原稿執筆にあたり、改めて学校の雰囲気よさを再



住森 克己
理科

確認。生徒のみなさんには、この素晴らしい環境を最大限活用し、「かけがえのない自分」として高校生活を送ってもらえたらと思います。私も、各々の獅子が輝けるよう尽力させていただきます。

一年九組担任の住森克己と申します。理科の授業では一年生と二年生のクラスを担当させて頂いております。中学校勤務、学習塾勤務を経て、本年度より本校でお世話になることになりました。

毎日、男子校らしい生徒の力強さや素直な面を感じながら過ごしております。クラスでは朝の校訓、帰りのライオン主義を元気に言っておりますが、生徒と共に、日々振り返りながら頑張りたいと思います。



佐藤 教治
数学科

皆さん、はじめまして。数学を担当する佐藤教治です。「数学」と聞くだけで拒絶反



設楽 美登里
事務次長

応をおこす生徒も多いと思いますが、数学を勉強することで日常のあらゆる数字に強くなることは確かです。日常は、様々な数字であふれかえっています。私は、数学だけでなく勉強は、可能性を広げる作業だと考えています。楽しく数学を教えることで皆さんの世界観が変わるような授業をするのが私の夢です。夢の実現のため精一杯頑張りますので、よろしく願います。

皆さん、はじめまして。設楽美登里と申します。大学・短大の事務局(就職課)から十二年ぶりに本校に戻って参りました。生徒の皆さんが明るく元気に挨拶する姿に感激し、本校のきめ細かい指導が、生徒一人ひとりに行われていることに改めて感動を覚えました。このような素晴らしい校風の中で、勤められることを嬉しく思っております。私も微力ながら皆さんが充実した高校生活を送れるようお役に立てたらと思っております。宜しく願います。

輝け!! 文星健児

部活動報告

四月から五月に各会場で平成二十一年度栃木県高等学校総合体育大会(以下「県総体」)等が行われました。その主な結果を紹介します。

※(英) 英進科
(普) 普通科

卓球部

各部門関東大会出場へ

四月三十日(木)から五月二日(土)にかけて開催された県総体に、本校卓球部が出場した。

学校対抗戦3位入賞を果たした本校卓球部は、その後のシングルスで堀光希選手(普二年)が準優勝、田村孝太併選手(普三年)が3位、澤島雅孝選手(普一年)が8強入賞を果たした。また、ダブルスでは田村孝太・阿久津友志(普三年)組が準優勝、堀光希・神長一充(普二年)組が4位入賞を果たした。

以上のメンバーは、団体の部とともに、六月に山梨県で開催される第59回関東高校卓球大会への出場権を獲得した。

陸上競技部

坂本選手関東大会へ

五月九日(土)から十二日(月)にかけて開催された県総体に、本校陸上競技部が

出場した。

各選手が日頃の成果を存分に発揮する中、本校の坂本雄也選手(普三年)は気迫の投擲でハンマー投げをはじめ3種目で入賞を果たし、六月に宇都宮市県総合運動公園陸上競技場にて開催される関東大会への出場権を獲得した。

◆坂本 雄也 (三年)
【ハンマー投げ】

【円盤投げ】 49m 61(2位)
35m 45(3位)
【砲丸投げ】 12m 64(4位)
(3種目とも関東大会出場決定)

剣道部

高根澤選手準優勝

団体ともに関東へ
五月八日(金)、九日(土)に開催された県総体に、本校剣道部が出場。団体の部で3位入賞を果たした。

また、個人戦では本校の高根澤友之選手(普三年)が決勝戦で渡部選手(佐野日大)に惜敗するものの、見事準優勝に輝き、団体の部とともに、六月に茨城県で開催される第56回関東高等学校剣道大会への出場権を獲得した。

柔道部

県総体団体3位

関東大会出場
五月九日(土)、十日(日)

に開催された県総体に、本校柔道部が出場した。

本校柔道部は団体の部において作新学院との3位決定戦を制し、六月に宇都宮市体育館にて開催される第57回関東高校柔道大会への出場権を獲得した。

関東大会の舞台においても、日頃の成果を出し切り、全力で戦い抜くことを期待したい。

将棋同好会

小倉県大会制覇!!

全国大会へ
五月三日(日)に開催された第45回全国高等学校将棋選手権大会栃木県予選に、本校の小倉一富史君(英一年)が出場した。

小倉君は決勝戦で小山高校の沢村君と対戦。中盤危機を迎えるものの見事接戦を制し、七月に三重県で開催される全国大会出場権を獲得した。

全国の舞台でも自分を信じ、全力で戦い抜くことを期待したい。



「全国大会では上位入賞を目指し、一戦一戦全力で臨みたい」

工場見学in那須

五月十五日(金)、総合ビジネス科三年十二組サービスピジネスコースの生徒16名は、ものづくりの現場を学ぶ一環として、那須塩原市にあるカゴメ那須工場へ工場見学に行きました。

那須工場では、地元で栽培した野菜や麦を加工して、皆さんもお馴染みのトマトジュースやニンジンジュース、麦茶などを製造しています。工場内部は、大小様々な機械があり、製造工程など見ていて迫力がありました。ものづくりの現場を間近に見ることができ、貴重な体験となりました。

集会所活動

こんにちは。今年度生徒会会長の北見です。今回から、本紙において新たに生徒会のコーナーを設けていただきます。内容は、学校行事などが中心です。

早速ですが、来る六月八日(月)、校内球技大会が開催されます。今年度初のクラス対抗イベントです。各クラス一致団結して学校行事行事を盛り上げましょう!! (裏表紙に生徒会役員の写真掲載しました)

一日の旅



四月二十四日(金)、一日バス旅行が行われ、全校生徒が東京デイズニランド(以下TDL)へと出発しました。朝早い集合時間にも全員遅れずに集合し、27台のバスは連なつて賑やかにTDLへと向かいました。

TDLでは数日前に新アトラクション「モンスタース・インク ライド&ゴーシーク」がオープンしたばかりでしたが、あまりの待ち時間の長さに乗ることを諦めた人も多かったようです。また、早々にアトラクションを切り上げて、家族や友人へのおみやげを吟味している生徒の姿も見られました。TDLの滞在時間は約5時間で、もつと遊びたい!との声も聞かれましたが、それぞれ楽しい時を過ごしたようでした。

帰りのバスでは、TDL主催のクイズラリーの答え合わせをし、参加賞にクリアファイルをいただきました。入学したばかりの一年生や、クラス替え後の二、三年生も今回のバス旅行を通して、クラスメイトとの仲が深まったようです。

検定試験取得状況 (五月末現在)

□実用英語技能検定□

【一級】

中山 裕太

【準一級】

小野 陽平 栗山 圭太
太田 晃一 高橋 廣晃
橋本 拓弥 佐藤 雅俊
小野 雅俊 富川 健太

【二級】

小林 大樹 高瀬 達也
川中子 貴紀 菊池 将真
高橋 洋行 仁平 航
鈴木 康平 池野 裕太
猪俣 貴之 佐藤 祐己
本田 卓也 牛久 拓哉
小林 勇樹 近藤 雄大
酒井 竜馬 高瀬 智大
中山 京介 藤橋 勇斗
柳岡 郁夫 若松 響人

□日本漢字能力検定□

【準一級】

小森 貴博 新本 拳太
常盤 昌伸 大竹 広之
佐藤 彰紘 山本 将也
神山 剛久

【二級】

角南 嘉一 瀬尾 昂
木村 駿斗 田代 和也

中 学 校

ポジティブな
心をつくらう館 野 弘 行
教務主任

昔から「光陰矢の如し」と言われていますが、月日が経つのは本当に早いもので、二十一年度がスタートし、早くも二カ月が過ぎようとしています。生徒の皆さんは、年度の当初に立てた目標をしっかりと実践できていますか。喉元過ぎれば熱さ忘れる」と言われるように、人はよく苦しい経験も、過ぎ去ってしまえばその苦しさを忘れてしまうものです。目標にもその言葉と同様の所があり、立てた当初は今年こそという思いから一心に頑張るものですが、月日の経過と共に、いつしか日常のマナーの中に身を置いてしまい、実践できていない自分に気が付かされるのが多々あるものです。そこで今年はこの文章を読んだことを一つの契機とし、改めて年度当初に立

てた目標と向き合ってみてください。

私は、目標を実践していく上で大切なことは、ポジティブな心だと思っています。簡単に訳しますと「積極的。樂觀的な考え方をすること」という意味になります。このポジティブとは、一見すると言葉の響き同様簡単なことのように思えますが、いざ日々の生活の中でこれを実践していくことになる、なかなか至難の業のようです。なぜなら、人間は誰しもネガティブ(否定的な考え方)な一面も併せ持っており、どんな時にもポジティブとネガティブの両方の側面を考え、その時の気分や精神状態に大きく左右されて判断してしまうので、今日からすぐにポジティブな人間に変わることは難しいからです。

ではどう対処すればよいのかというと、日頃から自分にはポジティブな人間であると自分に言い聞かせ、物事をプラス思考で考えるよう努力することです。例えば自主学習をした際に、一時間しか集中してやれなかった」と考えるか「一時間も集中してやれた」と考えるかでは、今後の心への働きかけに大きな違いをもたらすことになるのです。自主学習をする際に、「一時間しか」と考えてしまった人は、「どうせ今回も一時間くらいしか集中できないだろう」というようなネガティブな側面ばかりが心に芽生えてしまうのに対して、「一時間も」と考えた人は、「今回は一時間三十分くらいは集中できるだろう」といったポジティブな側面が心に芽生えて来るはずだからです。テストについても同様で、「何点取れたか」と考えるのと、「自分の弱点を知ることができる」というように考えて望むのでは、日頃の学習に対する姿勢が大きく変わって行くと思われまます。こういった考え方の積み重ねがポジティブな心を作り、しいては目標達成へと導いてくれるものなのです。

三年一組担任 稲澤雅夫
担任の稲澤です。ほのぼのとした穏やかな空気が流れるクラスですね。ひとりひとりが素直で、また要求した以上のことができる可能性を持っているように思います。これら個々の力を独立した場面だけで発揮するにはもったいない気がします。ここ一番瞬間、心を重ねることができると、クラスを目標により己を高めていってほしいと思います。

クラス担任・
副担任より

二年一組担任 木村憲子
引き続きこのクラスの担任をすることができるということで、とてもうれしく思っています。

この一年間を振り返ると、ひと言では言い尽くせないような様々な楽しい思い出やうれしい出来事、そして苦しいながらもクラスのみんながひとつひとつ考えを出し合いながら協力し合って乗り越えてきた出来事などたくさん思い出されますが、何と言ってもこのクラスの良いところは、何事においても「生徒ひとりひとりが元気で明るく裏表のないところ」だと思います。

二年生になり少しずつ将来のことも考え、今やるべきこと、今自分に出ることを真剣に考え、何事も一生懸命に取り組んでいってほしいと思っています。

副担任 阿久津俊彦
二年生の副担任になりました。とても明るく元気な所がこのクラスの一歩の長所だと思います。

中堅学年として、気を引き締めて学校生活を送ってほしいと思います。

一年一組担任 阿部陽介
四月から新入生十六人と担任・副担任の計十八名でスタートしたクラスは、何事にも前向きに、一所懸命に取り組む集団です。入学から一ヶ月で新たな級友との絆もでき、毎日が楽しい学校生活を送ることができています。

宿泊学習では、さまざまな活動を通して級友とのつながりをより一層深めることができました。

この一年間で「和を持って輪となり笑顔溢れるクラス」を目指して生徒と共に常に前進していきます。

副担任 松本悦子
一年一組の副担任になりました。松本悦子です。

ちよっぴり緊張しながらも、希望とやる気に満ち溢れている一年生を見ていると、一緒に頑張っていこうという気持ちが湧き上がってきます。

「教育とは希望を語ること」だと聞いたことがあります。大きな可能性を秘めている少年達、その瞳の輝きを失わせないように、一杯の努力をしてゆきたいと思っています。

新任教員紹介

岡里 登
国語科

今年度より国語科の担当として文星の一員に加えていただきました岡里です。私の父親も四十数年前、数学科の教員として、宇都宮学園に勤務しておりました。また、市内の中学校時代には野球部の顧問をしており、当時の部員の何名かは本校にお世話になりました。

小野 三郎
技術科

四月から本校に技術科担当として勤務することになりました。しばらく教壇から離れていた私にとって、光栄であるとともに生徒に接する不安もあります。少数精鋭、私学の伝統など慣れないことがあります。本校の教育方針に沿って頑張りたいと思っています。さて、教科の方針ですが、ものづくりは人づくりとも

甲子園や県大会などの活躍が思い出されます。これも何かの縁。人と人の巡り合わせの不思議を感じている所です。前途有望な若者たちに囲まれて授業のできる幸せを今、また味わっています。

着任の挨拶でも申し上げましたように、「何故」どうして」を常に考え続ける人になって下さい。当たり前と感じた時、人は進歩が止まるそうです。少しでも皆様の「何故」に答えるべく、努力したいと思っています。どうかよろしくお願いします。

言われます。私の授業ではものづくりを通じて次のことを重視していきたいと思っています。合理的な考え方に基づいて道具を使い、体験によって技能を身につけること。目的にあったものを設計して材料を選択し、その性質を知って無駄なく物を作ること。多感な時期の中学生に何か得るものがあるればと願います。これからの洋々たる将来を目指す元気な生徒とともに、自らも心身ともにしなやかな人間関係を作りたいと思います。

山崎 由果利
家庭科

本年度から家庭科を担当している山崎です。5月に入り、調理実習を行いました。生徒の感想を読んでいると、「手順を間違えてしまった」「同じ班の人に迷惑をかけてしまった」などまだ慣れない様子が見られますが、クラスメイトと共に調理を行う姿には笑顔があり、楽しさが伝わってきます。

マーク・マコーマック
英会話

私の出身地はイギリスのリバプールです。この街は、ビートルズの生まれた街です。私は、日本に来て十年になります。私の趣味は、インターネットやスノーボード、スキューバダイビングなどたくさんあります。中学校で英会話を教えるのは始めての経験です。今まで様々な年齢や職業の人たちに教えてきました。た



英会話の授業風景

たとえば医療関係の人たちや英語を必要としている民間会社の人たちです。伝統のある本校で英会話を教えることを楽しみにしています。日本語でも大丈夫ですので、気軽に話しかけてください。

中学生になつて

一年生に「中学生になつて頑張りたいこと」について書いてもらいました。その中から二名の生徒の作文を紹介します。

一年一組 田中 圭

僕は、中学生になつて何とかしたいと思っていることがあります。それは、自己管理のことです。小学生の時は、宿題をする時間を決めて、ほとんどその時間内に終わらせることができました。そのため、睡眠時間が短くなってしまい、朝起きる時に苦しみながら起こされるのがたくさんありました。このことは、僕が怠けているからとよく言われますが、「小学校では、自己管理ができなくても大きな問題にならない」からだと思います。

小学校の時は学校生活で叱られたり、成績がすごく落ちたりすることはありませんでした。しかし、中学校では宿題一つをとっても量が増え、内容も濃くなります。今までと同じようにやっていたら様々な問題がでてきてしまうと思います。そ

こで、中学に入学したことをきっかけに自己管理ができるようにしたいです。僕は、この自己管理が人間関係や勉強を上手くやっていくのにとっても重要だと思います。

一年一組 保坂 正道

僕は、本校に入学して五つの目標を決めました。一つ目は、勉強をいっぱいすることです。二つ目は、先輩方への敬語をしつかり使うことです。三つ目は、積極的にあいさつをすることです。家族や先生方、先輩、近所の方にはつきりと大きい声であいさつを忘れずにしたいです。四つ目は、部活動を頑張ることです。最初は、将棋部がバスケ部が剣道部で悩んでいましたが、僕は、ボールを使ったゲームが得意なので、バスケ部に決めました。レギュラーを目指して練習を頑張りたいです。また、すごい選手になつて活躍したいです。五つ目は、夢に向かってしっかりと進むことです。僕の夢は、防衛大

学校に入学して、陸上自衛隊に入ることです。この目標を達成できるように頑張っていきたいと思っています。

宿泊体験学習 ～大平少年自然の家～

中学校では、四月二十三日(木)から二十五日(土)の二泊三日で、大平自然の家にて宿泊体験学習を行いました。

初日は、午前中に栃木市内を見学し、午後に自然の家に入所しました。

天体観測や野外炊飯・オリエンテーリングなど様々な活動を通して、学年の枠を越えた人間関係を築くことができました。

宿泊学習の感想

一年一組 斎藤 浩介

僕は、宿泊学習でたくさんのかことを学びました。その中でとても心に残ったことが二つあります。

一つ目は、友達と協力することの大切さです。二日目の午後にオリエンテーリングがありました。僕がいた班は終了時間を大きくオーバーしたのでかなり減点されてしまいました。結果はあまりよくありませんでしたが、班の人が全員積極的に取り組み、様々なアイデアを出し、歩くのがつらい山道では励ましあ

い、頑張っていたこととても良かったです。

二つ目は、天体観測のことです。一日目の夜に土星を観察しました。土星について詳しく説明してくれた先生の話によると、土星は十五年に一度、団子に串を刺したような形になるそうです。望遠鏡をのぞいてみると、本当に団子に串を刺したような形でした。

二泊三日の宿泊学習で、普段の学校生活では得られない様々な経験をしました。この経験をもちに、これからの中学校生活を有意義に過ごしたいと思います。

宿泊学習の思い出

二年一組 井上 博紀

僕の宿泊学習での思い出は、一日目に行った天体観測と、二日目に野外で行ったカレー作り、そしてオリエンテーリングです。

天体観測で心に残ったことは、土星とその衛星を観測したこと。思っていたよりも星がきれいに見え、感動しました。衛星もいくつか見えました。あのようにな立派な望遠鏡で見る機会がこれまでなかったので、とても貴重な体験になりました。

宿泊学習

三年一組 小森 信之

次に二日目に行った野外炊飯では、先輩から後輩まで協力してカレーを作り上げました。午後に行ったオリエンテーリングでは、先輩や後輩とコミュニケーションをとり、班全員が一丸となって取り組むことができたので、とても楽しかったです。

このように、宿泊学習を通していろいろなことを学ぶことができました。充実した宿泊学習でした。

宿泊学習二日目に大きな行事が二つありました。一つはオリエンテーリング、もう一つはキャンプファイヤーです。

オリエンテーリングは、一歩間違えればルートからはずれ、自分の現在地すらわからなくなってしまう恐怖のゲームです。今回はそうなることだけは無いようにこまめに地図を確認しながら進みました。途中、きつい階段や山道等があり、また、一年生がアスレチックから落下してしまうというハプニングもありましたが、無事ゴールすることができました。

次にキャンプファイヤーを体験しました。三年生は、練習してきた「エヴァンゲリオン」のダンスを披露しました。練習の甲斐あって、予想以上とはいかないものの上手にできました。何より踊り終わった後の達成感忘れられないのでない充実度がありました。三年生最後の宿泊学習で、彼らと一緒に踊れて本当に良かったです。

フォーラムIN足尾

五月十六日(土)に「フォーラムIN足尾」が行われました。中学校では毎年参加している行事の一つで、足尾の歴史や環境問題を考える良い機会となっています。

二・三年生は、昨年自分で植樹した木が順調に育っているか心配していました。しっかりと育っている姿を見て安心していました。一年生は初めての体験という



植樹風景

ことで、指導員の先生の指示のもと、一生懸命取り組んでいる姿が見られました。今回の植樹では、アセビと蓮華つつじを植えてきました。

文星散歩道

(題字 大木副教頭)

④ 少しの工夫が可能性を広げる

数学科 齋 藤 淳

考える角度を少し変えることで問題が解決したり、僅かな工夫が何かを劇的に変えたりするといふ場面に、皆さんも一度は遭遇したことがあるのではないのでしょうか。

何年か前から、生活の中でQRコード(白黒モザイク状の四角いマーク)が記されているものを目にすることが増えました。使い方については周知の通りですが、例を挙げるなら、お菓子の袋や広告、地図等に印刷されている

QRコードの部分を携帯電話のカメラで読み取ると、自動的に関係する情報サイトへ繋がっていくというものです。実に便利なツールとして活躍していますが、これはただ生活を便利にしたいだけではなく、紙媒体のような情報形態に新しい可能性をもたらしたとも考えることが出来ると思います。紙は、情報が印刷された(書き込まれた)時点で、その内容を新たに変更したり付け足したりすることが難しいとされてきました。しかし、印刷する情報の中にQRコードを一つ混ぜておけば、そのQRコードの先で情報を変更することが可能になります。僅かな工夫が、紙という媒体に記録という情報価値だけでなく、生き続ける情報価値を加えてくれました。

皆さんも様々な分野で色々な見方をして、是非人とは違う新しい発見や工夫をしてみてください。あなたにも、世の中の可能性を大きく広げるチャンスが巡ってくるかもしれません。

平成21年度生徒会役員



文星フォトギャラリー



入学式／高校職員紹介



入学式／中学校



一日バス旅行／高校



宿泊体験学習／中学校